Koumi Mighty-duro 24/24

第24回小海マイティデューロ MTB24時間耐久レース2016

2016年10月9日（日）午前9時スタート／長野県小海町松原湖高原オートキャンプ場特設MTBコース(4.3 km)
主催：小海プティリッツア探索委員会2016　　共催：（一社）小海町開発公社　　後援：小海町、小海町観光協会
天候：雨後曇り　　出走：28チーム

1993年の第一回大会の時点で24回も続くとは想像もしませんでした。せめて目標でした。
平成のエコ系自転車ブームでは、MTBは蚊帳の外状態です。その意味で、MTBブームは懐かしむだけのものかも知れません。それでも某自転車関連団体の助成金の噂を聞き、地元の理解を得てアプローチしたものの、「助成対象は一般のサイクリング大会」という理由で、跳ね返されてしまいました。
その点は力不足と言うしかありませんが、それでも前を向いて“24回記念大会”として準備を始めました！

左の写真は、8月6日～7日で実施した「道普請キャンプ」と、直前のコース設営の様子です。
道普請キャンプでは、グラウンドの進入口を塞ぐ残土を使い、舗装路からマレットゴルフ場に上がる坂の路面補修を重点的に行いましたが、例年より早い道普請は、キャンプ場繁忙期と重なり、草刈は一部に留まりました。
その積み残した草刈は、9月下旬に有志にお願いしました。そして、コース設営はグラウンドの全面をピットにするため、ピット割りから始め、さらに周回数を稼ぐ目的でコースをカットしましたが、実はそれとなく延長箇所も多く、ライダーからは「去年より長いのでは？」と疑問視される始末。。。

そんな見積り違いもありながら、前夜のBBQはいつも通りに盛り上がり、翌朝は空模様を気にしながらのスタートでした。しかし、そのショートカットと、予想以上の雨量は、二つの誤算を生みました。オートキャンパーに配慮したキャンプサイト内のショートカットは、横断箇所のスタッフからライダーが見え辛く人員が必要で、実走スタッフにも周回する余裕がなくなったこと。そして想定以上の雨量が路面状況を悪化させ、コース補修に追われ、レース展開やサブメニューやイベントを楽しむエントラントなど、全体を把握していないのが正直なところです。。。なので写真を見ながら振り返ります。

まず上段左から。　◇スタート前の7時間の面々。いつも終了後の集合写真に居ない人もいるため別枠で。。。◇二枚目はグラウンドのボトム部分の水ハケ用の水路。スタート直後はまだマシだったが、予想以上の雨量は雨が止んだ後にも影響を残し、場所によっては乗れない路面も。。。　◇真ん中は補修した坂道。客土をして、枕木を並べ、さらに金網を敷く。心配されたが最後まで機能！！　◇オリジナルTシャツも製作。記念品ですから！？　◇サブメニュー第一弾、仮装コンテスト。審査員も納得の子供からの声援が決め手！

続いて前頁下段左から。 ◇7時間の表彰式。グラウンドピット中央部のスタート＆フィニッシュラインを兼用ステージに！ ◇夜間走行風景。コーナーの連続するコースにはヘッドライトは必需品！ ◇シェフコンテストの優勝作品のカケラ？24回を祝う記念ケーキのチョコ製プレート！ ◇ライティングコンテスト常連の作品。フレームがダイヤモンド型に光っています。 ◇ミッドナイトクイズ正解者の面々！「問：参加記念バンダナの“The24h”」の個数は？」「正解：24個」 ここまでがスタートから明け方までの様子です。

そして夜が明け、残り4時間。 ◇ピット風景。ソロ参加も仮眠や着替えや補給など、ピットの充実は必須です。 ◇いつもなら朝日に照らされる芝生の斜面。今回は天候の回復も予報が外れた。。。 ◇フィニッシュ風景。歓喜のウオーターシャワーか？ ◇副町長挨拶。完走証の遅れを補って下さいました。 ◇表彰風景。良く見ると全員が野菜を持っている。地元野菜の詰め合わせが副賞です！

リピーターに支えられながら、新規チームも散見される陣容で、オートキャンプベースの24時間を楽しむ中間達が集う大会です。
24時間耐久レースの24回記念大会をひとつの節目とするつもりでしたが、もう少し続けることを、この集合写真を撮る前に宣言しました。その後、スタッフとも話し合い、当然永続開催は無理なので、30回を目標に続けることを確認。また、来年は日程を同じとしながら、実験企画的な部分も含め、日曜日スタートを、土曜日スタートにする方向で検討することに。
レース終了後、ゆっくりと表彰式兼交歓会が出来ればと、目論んでいます。

さて残った写真は、翌日に荒れた箇所を写した500枚近い中の2枚です。コースオーナーとも話しあって、会場の変更も含めた善後策を模索することになりました。路面を傷めるという観点では特に問題にしていないとのことですが、今後オートキャンプ場の拡大計画もあり、また、この三連休には他のイベントも重なっているので開催時期の見直しも打診されているところです。

最後になりましたが、ご参加を頂いた皆様、そしてご理解、ご協力を頂いた地元関係者や自転車メーカーの方々、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。そして冒頭のMTBブームを懐かしむだけでない、関係各所への呼び掛けをして、30回大会に向けて進んで行きたいと思います。

文責：企画担当／いしまるひであき